

愛知県 高校入試情報

令和7年度愛知県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 昨年と同じく、マークシート形式で、大問数3、小問数19で22点満点。
- 大問1は各領域の基本的な小問集合、大問2は箱ひげ図、関数のグラフと図形、関数の利用、大問3は角度、相似や三平方の定理を使う図形の問題が出題された。
- 大問1は、計算、関数、図形など、幅広く基本的な知識を問う問題が多い。大問2の関数はグラフを利用して解く。大問3の図形問題は、的確な補助線を引くなど、応用力が必要。
- 関数のグラフと図形、関数の利用、三平方の定理を使う平面図形や空間図形の総合問題はよく出題されているので、対策しておきたい。

★愛知県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■関数の利用の問題の出題

・関数で表される関係について、グラフを使って考えたり、関数の式を利用して解く問題がよく出題されている。

新研究で対策！

●整理編単元15 1次関数②
B問題 (p. 81) や、「変化のようすに注目！図形上の動点を考える問題」 (p. 180～181) で、入試によく出るパターンに取り組むことができます。

■三平方の定理を利用した問題の出題

・体積や面積などの三平方の定理を利用した問題が例年出題されている。相似や円周角の定理と組み合わせた問題もよく出題されるので、対策が必要である。

新研究で対策！

●「チャレンジ！平面図形と空間図形の総合問題」 (p. 186～187) で、三平方の定理を利用する問題を集中強化することができます。

例年、基本～標準レベルを中心に幅広い範囲から出題されます。各分野の基本をしっかり身につけておきましょう。



★愛知県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度		R5年度	R6年度	R7年度
		A	B			
1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●	●
	文字と式	●	●	●	●	●
	方程式	●				●
	比例と反比例	●			●	●
	平面図形					
	空間図形		●	●	●	●
	データの分析と活用	●	●		●	●
	式の計算	●	●	●		
	連立方程式	●				
	1次関数	●	●	●	●	●
	図形の調べ方		●	●	●	●
	三角形			●	●	●
	平行四辺形	●	●	●		
	確率		●	●	●	●
2年内容	データの比較と箱ひげ図			●	●	●
	式の計算	●	●	●	●	
	平方根	●	●	●	●	●
	2次方程式	●	●	●	●	●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●	●
	相似な図形	●	●	●	●	●
	円の性質	●	●	●	●	●
	三平方の定理	●	●	●	●	●
	標本調査					●
3年内容	大問数	3	3	3	3	3
	小問数	19	19	19	19	19
	図形の証明(説明)					
	その他の説明・証明など					
	立式・解法の過程の記述					
	作図(図形)					
	作図(グラフ)	1	1			
出題形式別の傾向	記述問題					

★新研究で出題した愛知県の入試問題(令和7年度)

p.27大問4,p.101大問3(1),p.141大問1(3),p.155大問2,p.187大問2